

成果指標				
成果指標	徴収率＝収納済額÷(普通徴収調定額＋滞納繰越分調定額)			
指標設定の考え方	徴収率を指標設定することにより、介護保険料の公平な負担率を推測すること			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	77	75.3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	日曜窓口での対応、文書の送付など事業推進を図った。滞納の軽減に向けてパンフレットの活用など、制度への市民理解度を上げる事が今後必要になると考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	徴収率が前年より下がっており、更なる徴収努力が必要である。日曜窓口の開設などを行っているが、効果が出ておらず検討する必要がある。また、払えるのに払わない悪質滞納者に対しては差し押さえ等を行い、公平性を維持すべき。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	引き続き、効果的な滞納整理を進める。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。